

# 関東教区の宣教を考える集いのご案内

## テーマ 「教会は『広場』になろう part2」

### — 地域の「居場所」としての教会 —

関東教区宣教部では、毎年7月の海の日に「関東教区の宣教を考える集い」（宣教総合協議会）を開催し、教会が今担うべき宣教の課題について学んできています。

2018年度の「宣教を考える集い」では、2017年度に続いて、「教会は『広場』になろう」を学びたいと計画しました。

AI化がますます進む社会は、一見便利さを増したと思われがちです。その便利さは十分に享受しながらも、いくら社会が進化しても解決することができないことがあることを指摘しなくてはならないでしょう。

それは、「人のいのち」「人がそこに存在している」ことがどのくらい重んじられているのかということです。言い換えると、進化のはざまにおかれ、声にならない声をあげている人たちが増えていて、その人たちが自分の居場所を求めているのです。この声を現代の教会は聞く必要があるのではないのでしょうか。

今回は、前十日町教会牧師で、今は京都教区世光教会牧師の新井純先生をお迎えして「ベテスダの家が生まれた日」のテーマでお話を伺います。世光教会の取り組み例とその活動を支えている「世光教会のひろば観」に学びます。また、関東教区の中でも「ひろば」の取り組みが広がっていますが、その中で、西川口教会を会場にする「川口がん哲学カフェ『いずみ』」の取り組みを紹介していただくこととなりました。

教会が「広場」に取り組むことによって地域と共に歩む教会が形成され、宣教の業が進められていきます。一緒に考えましょう！  
(関東教区宣教部委員会)

**日時：2018年7月16日(月・祝日)10時15分～15時30分**

**場所：日本基督教団大宮教会**

**内容：主題講演「ベテスダの家が生まれた日」**

**新井 純牧師（京都教区世光教会）**

**「川口がん哲学カフェ『いずみ』の取り組み」紹介**

**金田佐久子牧師（埼玉地区西川口教会）**

**参加費：500円（昼食は各自ご持参ください）**

子どもたちにも参加してほしいと願っています。一緒にひろばの話を聞きましょう。子どもの参加費は無料です。昼食のみご用意ください。

**※交通費補助：申請により往復交通費6千円以上の方には補助をいたします。**

**【このチラシを教会ごとに印刷くださって、教会内で配布いただければ幸いです】**